

# 関東良陵だより

## 東北大学関東良陵同窓会

### 平成三十年年度 関東連合総会開催

平成三十年六月十六日(土)、東京・市ヶ谷私学会館アルカディアにて、関東連合春季総会が開催された。

当日は関東から二十四人の良陵同窓生が集まり、和やかに開催された。

午後四時三十分から、総会が開始された。押田会長が「押田体制六年目になり、若い会員の確保が大きな目標となっております。そこで卒業後関東在住と思われる比較的若い良陵会員に『若い良陵の会』の連絡を多数差し上げました。今年は数名が参加して盛会でした。今後の課題として、更に継続的に若返り政策を進めてゆきたいと思えます」と挨拶した。

次いで、岩瀬幹事長より経過報告がなされ、「若い(と思っている)良陵の会」の詳細が報告された。続いて、清澤会計担当理事より会計報告がなされ、会費の値上げの検討が必要との報告があり、会計監査報告があり、会計報告と予算案が承認された。

更に新常任幹事となった飯野ゆき子幹事より女性医師部会報告があった。

午後五時から、照井正先生(昭和56年卒)より『皮膚科とサッカーからみた東北大学と日本大学の違い』との演題で特別講演が行われた。

照井先生は、東北大学在籍中は皮膚の免疫・炎症・アレルギーをテーマに研究していましたが、日本大学ではアットホームな雰囲気、「良き臨床医の育成」のため臨床教育研究に励んでいるとのことでした。

一方、サッカーでは両校で全日本医科学生大会の優勝数は日大での五連勝を含めて合計八回に上がり、OBから指導の賜物とお褒めの言葉をいただき感謝しているとのことでした。更に仙台では経験できない首都圏にある十三の医学部の特徴ある仕事に関して、最先端の知識をより早く得ることができ、新薬の知見でも指導的立場になることも経験できているとのことでした。

午後六時から、場所を移して懇親会が行われ、東北大学総長を二期無事に努め、四月より独立行政法人日本学術振興会理事長に就任した里見進先生も参加され、大いに盛り上がりました。

アフターディナーの催しは、例年のコンサートと異なり、本年の余興として、会長が専門としている(?)奇術を披露することが役員会で決定されたので、里見先生の新理事長就任祝いを兼ねたマジックを披露した。(本紙四面に紹介記事・写真等が掲載してあります)

その後、出席会員各位から近況報告も行われ、最後に、飯野正光副会長が今後に向けて決意を述べて閉会した。

東北大学良陵同窓会 関東連合会

会長 押田茂實(文責)

\*本年度会費(金三千円)を未納のかたは本紙四面掲載の要領にて、納入をお願いいたします。



写真上は、春季総会にご出席の先生方の集合写真  
二列目右から岩瀬 光幹事長 その隣、押田茂實  
会長  
最後列 右端 講演の照井 正先生



写真左 総会で講演をする照井 正先生



写真右 関東良陵同窓会・新任幹事  
北原 規先生

「若手会」からのお知らせ

若手2019年開催の『関東若手会』に参加して下さい！

2019年3月9日(土)午後6時30分、飯田橋駅西口下車  
飯田橋ビルセンターラブルプラザビル20階の『北海道』にて、  
『関東良陵若手会』を開催します。

既に、住所が分かっている方には、1月に案内状を出しますが  
まだ案内が来たことのない方は、幹事長岩瀬光(昭和59年卒)  
まで、メールで連絡して、住所等を教えて下さい。

メールアドレスは [koisochi@nifty.com](mailto:koisochi@nifty.com) です。

ほとんどの若手の他、各大学の教授、准教授、講師の先生や、主要  
病院の病院長なども参加しますので、研修や研究のご相談も  
できると思っています。

岩瀬 光(関東良陵同窓会幹事長)

☆新任幹事紹介・関東良陵同窓会☆

1 挨拶

北原 規

初めまして。今回関東良陵役員にご推薦頂いた  
北原 規と申します。都内在住三十数年になります。  
今後とも宜しくお願い申し上げます。

略歴 平成53年3月東北大学医学部医学科卒業  
同内科系大学院(臨床癌化学療法部門) 卒業・医博  
同放射線助手→米国NY州立 Roswell Park  
Memorial Institute(留学(腫瘍免疫学))→帝京大学

医学部付属溝口病院講師→英国ロンドン大学付属バ  
ーソロミュー病院客員准教授(心臓核医学)→癌研究  
会付属病院放射線治療科主任教授→昭和大学病院放  
射線科助教授・同藤が丘病院主任教授→国際医療福  
祉大学三田病院放射線治療科教授・同治療核医学セ  
ンター副センター長→東海大学医学部専門診療学系  
放射線治療科学教授→東海大学医学部付属八王子病  
院放射線科治療科学教授・現在に至る。

趣味 絵画・写真・格闘技・祭り・雑文書き等

第二十一回 良陵同窓会  
女性医師部会 定例会報告

飯野ゆき子 (昭和49年卒)

本会幹事女性医師部会担当

関東良陵同窓会・女性医師部会定例会は今年(2018年)で第二十一回を迎えました。これまでは女医部会と称しておりましたが、昨今は女医とは言わず女性医師が一般的ですので名称の変更を提案致しました。この件は女性医師部会定例会の三週間前に開催された関東良陵同窓会総会で承認されました。

さて、その第二十一回関東良陵同窓会・女性医師定例会は平成三十年七月七日(土)午後五時三十分から、パレスホテル東京1Fグランドキッチンガーデンルームで開催されました。それまでの数回は、アルカディア市ヶ谷で開催されておりましたが、少し趣向を変えて、ということでパレスホテル東京のパールテイルームを選んできました。参加者は押田茂實会長、飯野正光副会長、清澤源弘会計担当幹事、高橋慎一郎(事務局)四名の男性を含め昭和33年卒の佐瀬クララ先生から平成15年卒の工富知子先生まで幅広い年齢層の先生方にお集まりいただき計二十六名でした。懇親会に先立ち、国立病院機構東京医療センター形成外科医長の落合博子先生(平成3年卒)に「意外と身近な形成外科」というタイトルで一時間のご講演をお願い致しました。形成外科は、各診療科にまたがる非常に広い分野を扱っていらつしやいます。疾患や治療、そして手術等に関する多種多様なスライドを提示しながらの素晴らしいご講演で、出席者一同大変勉強になるとともに楽しんで頂き、たくさんの質問がよせられました。また東京医療センター形成外科はほとんどが女性医師でかつ多数の手術をこなしていることを知りました。女性医師が生き生きと活躍している様子をご紹介いただき、本当に嬉しく思いました。

その後、美味しいお食事とワイン等の飲み物をいただきながらの懇親会が持たれました。和気藹々とお食事、お喋りを楽しみ大変盛り上がりました。また、全員からの自己紹介とスピーチをいただきお互いを知り合う良い機会になったと思います。先輩の先生達のご苦勞話や、若い先生達の面白いお話などを聞いて、大変楽しい時間を過ごしました。良陵会の女性医師は皆とても素晴らしい、色々学ぶことが多いと思います。また各科の垣根を超えての情報交換もできます。やはり同門としてこれからの色んな場面でお互いにお願ひすることもあると思います。このような女性医師部会というせつ



くの集まりがあるので、ぜひ多数のご参加が望まばと思います。パレスホテル東京のパールテイルーム1Fは解放的な窓から皇居目前に広がり、とても美しい素晴らしい雰囲気味わいながらの会でした。来年(2019年)の女性医師部会定例会は現在のところ、七月六日(土)に開催予定となっております。また、場所等具体的なこと未定ですが、魅力的なプログラムを準備したいと思っております。是非例会には多数の女性医師のご参加をお願いしたいと思います。

\*写真上は、女性医師部会(七月七日開催)に出席の女性医師先生方の集合写真

# アフターディナー・スペシャル・アトラクション

☆特別出演・押田会長先生のマジック☆

去る六月十六日(土)に行われた「関東東長連合総会」のアフターディナーの「お楽しみ舞台」にタキシード・黒の蝶ネクタイが良く似合う粋な英国風紳士が颯爽と登場しました。そして手品を始めたのです。この人は、何と関東東長会長・押田茂實先生でした。令夫人・押田翠先生(昭和42年卒)もご一緒に手品助手を務められたのです。参加者一同、楽しい時間を過ごし大喝采の拍手がいつまでも続きました。(一)

本年「関東連合総会」懇親会のアトラクション「押田手品ワールド」の感想 岩瀬 光(本会幹事長)

毎回、懇親会のアトラクションは、声楽や器楽の音楽アトラクションが主でしたが、今回は趣向を変えて、マジシャン押田茂實先生(昭和42年卒)本会会長のマジックショウが行われました。押田先生は、東北大の学生時代から東北各地のキャバレーを始め各地を廻っていた、いわばプロのマジシャンです。今回は夫人(押田翠先生昭和42年卒)を助手に従え、見事な手さばきを見せて頂き、参加者一同感激して、大喝采でした。

## 会長がマジック!

昭和36年に東北大学医学部に入學した真面目な少年は、当時の長町の「有明寮(ゆうほうりょう)」に入り、「童謡を歌う会」に入会しました。毎晩童謡を歌っていたのですが、秋になって童謡を歌っていた一年先輩から「手品の助手をやれ」と命令され、「ハイ」と答えたのが十九歳の誕生日で、その後中古のタキシードを買って

プロマジシャンになってしまったのです。医学部学生の傍ら、四年間プロマジシャンとしてNHKや東北放送に出ており、キャバレーや各地の温泉などで出演していました。その後、関東東長同窓会役員会で、会長がマジックをやれ」と決定され、それでは「ワンステージ百万円の手品をどうぞ!」ということになったのです。今回は最後のご奉公と考えて、里見先生のお祝の新作とし一緒に約二十分間のマジックを披露しました。(文・押田茂實)



## 追悼 永井一成先生

一月二十七日に押田会長からの連絡で永井先生がご逝去されたことを知りました。例年のように昨年暮れにはお歳暮を頂き、お礼状と返礼の品を正月に合わせお送りしたのですが、何時もように電話でのご返事が無く何となく胸騒ぎを覚えていた矢先でした。後日、ご子息から頂いたお手紙によると、昨年十月末に病が見つかり暫く入院の後十二月からご自宅で療養され、一月十一日に奥様の遺影の前で息を引き取られました。一月二十七日の先生の誕生日には、診療所の待合室で献花式が執り行われ、数多くの近隣の方々とお別れをされたとのこと。九十三歳の御長命でした。

先生との出会いは十年以上前に神奈川支部の総会の際にお手伝いを命ぜられた時からです。五年前からは関東連合会の役員会の帰りに、市ヶ谷から横浜市洋光台のご自宅まで車でお送りしたことが数回あります。車の中ではいつも青年医師の頃の思い出や、子息たちのご活躍を喜びにお話しされていました。大変穏やかで温かみのある、春風駉蕩の言葉が似合う先生でした。洋光台で、開業されて四十数年、地域の患者さん達にも同様の態度で誠実に接して来られたことと思います。長い間、ご苦労様でした。衷心から、ご冥福をお祈り申し上げます。

略歴 昭和二十九年東北大学医学部卒業、鹿児島大学第二内科、伝染病研究所(現東大医科研)、結核療養所(現神奈川県立循環器呼吸器病センター)、東邦大学大森病院第二内科を経て昭和四十六年四月現在地に開業し四十数年に渡り地域医療に尽力。東北大学長陵同窓会関東連合会顧問。 坂間 晃 昭和43卒・本会幹事



写真上 押田茂實・翠先生ご夫妻のイキの会ったマジック・シーン

写真下 日本学術振興会理事長ご就任の里見先生のお祝い

\*本年度(平成三十年)度会費 金三千円)未納の方は、同封の振込み用紙により、ご納入をお願い致します。

東北大学長陵同窓会

関東連合会 東京支部

T2470072

鎌倉市岡本一丁目一七〇四

TEL & FAX

〇四六七(四五)〇二八七

「関東長陵だより」第四十六号

平成三十年十一月一日発行